



平成 28 年新年号 No.506

のうぎょうだよりは八戸市農業委員会のほか、市内農協各支店でも配布しています。また、インターネットではフルカラーでご覧いただけます。○八戸市ホームページ <http://www.city.hachinohe.aomori.jp/>



年頭のご挨拶



八戸市農業委員会
会長
籠田 悦子

明けましておめでとございます。皆様には、日頃より農業委員会業務にご協力を賜りまして、心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、2月早々に「青天の霹靂」が、青森県産米初の特A獲得との吉報が飛び込んでまいりました。これは青森県が進めてきた「攻めの農林水産業」の結実であり、開発に携わった方々の喜びも、ひとしおのことと思います。今後は県南地域においても、全国市場で戦える米作りが進むことに、大きな期待を寄せているところです。

一方、10月に大筋合意に至ったTPP交渉は、その内容が予想以上に厳しいものとなりました。農業委員会では、かねてからTPP交渉における国会決議遵守を訴えてきたところですが、これからもこの結果について、政府の明解な説明を求めてまいります。

また、本年4月からは、改正農業委員会法が施行されることとなっており、時代の流れとともに、農業委員会にも変革が求められていることを痛感しているところです。しかしながら、農業委員の活動は、農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図り、農民の地位

の向上に寄与するとともに、農地を守り、未来の担い手へ引き継いでいくこととであり、農業委員全員が今まで以上に自覚と責任を持つて、積極的に活動に取り組んでいくことが必要と考えております。そのため今年も国、県、各関係機関と連携しながら農業者の皆様のご期待に応えることができるよう、誠心誠意努力する所存でございます。結びに皆様のご多幸とご健康をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。



三八地域農政局
地域農林水産部長
外城 勉

謹んで新年のお慶びを申し上げます。農家の皆様には、日頃から本県の農林水産行政にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、春先からの高温少雨、そして一転しての1ヶ月分の豪雨や、10月の強風など、作物の栽培管理にご苦労されたことと思います。しかしそのような中、皆様のご努力により水稻の作況指数が105のやや良の出来秋を迎えることができました。また、県産米全体の評価向上を担う県産初の特A米、青天の霹靂もデビューし、順調な滑り出しを見せたところです。

一方、10月のTPP大筋合意を受けて、国が示したTPP政策大綱は生産者の不安を払拭するまでには至らず、先行きを見通すことが難しい状況とな

っております。そのため今年も、TPPに対応して打ち出される各種施策の情報を正しく伝えながら、経営所得安定対策の一層の普及に努めるとともに、情勢変化に的確に対応しうる足腰の強い経営体づくりを力を入れて参ります。さて、青森県が取り組んできた「攻めの農林水産業」も今年で13年目となりますが、今後も農業の六次産業化や観光農業等の推進を図るとともに、「地域経営」の展開を通じて地域力を高め、農林水産業の成長産業化の実現を目指してまいります。

また、昨年見直された第10次八戸市農業計画の実現に向け、市農業委員会ははじめ関係者と連携しつつ、各般の施策により支援していく所存ですので、本年もよろしくお願い申し上げます。新しい年が皆様にとりまして幸多い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

謹賀新年

八戸市農業委員会
会長 籠田 悦子
同職務代理者 和泉 俊雄
農地部会長 齋藤 正人
同職務代理者 明戸 政勝
農政部会長 馬場 豊
同職務代理者 寺沢 和則
委員一同
農業委員会事務局 一同

是川／館の各地区で耕作されている農業経営者の皆様を対象とする

経営再開マスタープランについて座談会を開催します

国では、地域農業の振興を図るため、新規青年就農者への給付金の給付や、金融機関からの融資を活用して農業用機械や施設等の整備を行う場合に、融資残の自己負担部分についての助成を行う事業を実施しております。

当市では、これらの国の事業を行うため、また、これからの地域農業のあり方を検討するための「経営再開マスタープラン」を、是川、館の各地区において更新するため、準備を進めているところです。

つきましては、「経営再開マスタープラン」に関する皆様のご意見を賜りたく、次のとおり座談会を開催いたします。

皆様お誘いあわせの上、お集まりくださいますようお願いいたします。

問 農業経営振興センター ☎ 27-9163 FAX 27-9166

地区	日時	場所
是川地区	2月15日(月) 13:30~	是川公民館
館地区	2月22日(月) 13:30~	農業経営振興センター

※大館、南郷の地区につきましても3月に開催することとしています。

農業フイールド研修会 開催お知らせ

トマト・ミニトマトの栽培に興味のある新規就農者等を対象に、農業経営振興センター内の圃場にて実地研修を行います。

◆第1回 トマト・ミニトマトのは種(はしゅ)について

2月19日(金)

13時30分~15時30分※座学60分

◆第2回 トマト・ミニトマトの移植について

3月18日(金)

13時30分~15時30分※座学30分

主催 八戸市

八戸地域担い手育成総合支援協議会

定員 5名(先着順)

参加費 無料

場所 農業経営振興センター

(八戸市大字尻内町字毛合清水29)

申・問 2月17日(水) 17時まで

に農業経営振興センターへ

☎ 27-9163
fax 27-9166



ここが変わった!

農業委員会制度

昨年9月に農業委員会法が改正され、毎年皆様に提出をお願いしていた農業委員選挙人名簿登載申請書の提出が不要になりました。そこで今回は、農業委員会制度の、どのような点が変わったかを簡単に説明します。

まず1点目は、農業委員の選出方法が、選挙による公選制から市長による任命制になりました。次に業務内容の変更です。今まで任意業務であった耕作放棄地の解消や、新規参入の促進が、必須業務になりました。3点目は農地利用最適化推進委員が新設されたことです。推進委員は農業委員会により委嘱され、農地集積や遊休農地の発生防止、新規参入の促進などに現場サイドから取り組むこととなります。

今月の Pic up! アップ

まだまだ手探り状態の新制度ですがより良い農業制度になることを期待したいですね。

平成 27 年度八戸市農業講座

農業の生産性向上と農家経営の安定を図るため、農業の優れた知識や新たな技術を紹介する講座です。

※申込みは不要です

会場 農業経営振興センター
(八戸市大字尻内町字毛合清水 29)
問 農業経営振興センター
☎27-9163 FAX27-9166

土の「物理性」について考える
～物理性の現状と、深耕・プラウ耕や
緑肥施用等の効果～

講師 **加藤 哲郎 氏**
農学博士
(明治大学大学院農学研究科兼任講師等)
1月18日(月)13:00～14:30

ネギで儲けるために！
(栽培から品種選びまで)

講師 **小原 一夫 氏**
(株)パセリー菜 常務取締役
1月18日(月)14:45～16:15

近年変わりつつある天気
今年の八戸の天候は？

講師 **田嶋 研逸 氏**
(株)吉田産業海洋気象事業部 所長
(気象予報士)
1月19日(火)13:00～14:30

確かな未来へ
～有機農業 44 年の実践から～

講師 **金子 美登 氏**
霜里農場 代表
(NPO 法人全国有機農業推進協議会理事長)
1月19日(火)14:45～16:15

ピーマン品種「京ひかり」の
特性と他産地での声

講師 **奥原 和武 氏**
タキイ種苗(株)東北支店 開発担当技師
1月21日(木)13:00～14:30

切花の日持ち性向上！
～鮮度を保つ技術、お教えします～

講師 **山口 佳孝 氏**
クリザールジャパン(株)大阪営業チーム
チームリーダー
1月21日(木)14:45～16:15

27 年はどんな作柄だった？
大玉トマト栽培マニュアル

講師 **後藤 敏美 氏**
全国農業協同組合連合会青森県本部
営農対策部営農指導課専任アドバイザー
1月22日(金)13:00～14:30

課題研究発表

青森県立名久井農業高等学校
1月22日(金)14:45～16:15

りんご共済の加入について
りんご共済加入で
「自然災害からりんご経営を守りましょう」

加入申込期間は平成27年12月1日から平成28年3月25日までです。

りんご農家のみなさん、近年、地球温暖化に伴い各地で異常気象による自然災害が多発しています。台風やひょう、霜からりんご経営を守る、りんご共済に加入しましょう。

りんご共済は、掛金の半分を国が負担し、防風ネット等の防災設備があればさらに掛金の割引もあります。

次の特定危険方式(災害を限定する方式)及び総合短縮方式(災害を限定しない方式)は、平成28年産りんごを補償の対象としています。

【特定危険方式】

- ① 暴風雨方式
- ② ひょう害方式
- ③ 凍霜害方式
- ④ 暴風雨・ひょう害方式
- ⑤ 暴風雨・ひょう害・凍霜害方式

【総合短縮方式】

4月の発芽から収穫までの約8ヶ月間に発生した全ての災害が対象。

0176・22・8151

問 N O S A I 南部地域農業共済組合

編集発行 平成28年新年号 八戸市内丸一丁目1番1号 八戸市農業委員会 (TEL 43-2111)

内線4013

印刷部数4, 320部

印刷経費1部あたり4.62円



八戸農業ビジネス ナイトセミナー 開催のお知らせ

農業ビジネスに興味のある方を対象に、農業ビジネスセミナーを開催いたします。

主催 八戸市、八戸地域担い手育成総合支援協議会
定員 各70名(先着順)
場所 はっち2階 シアター2
申・問 各回とも開催日の前日午後5時までに農業経営振興センターへ
TEL 27-9163 **fax** 27-9166

グローバルブランドへの 挑戦

1月13日(水)
18:30~20:00

大谷 真樹 氏
八戸学院大学 学長
高橋 大就 氏
オイシックス株式会社
海外事業部長

これからの農業経営とそのあり方 ~地域活力の発現に向けて~

1月14日(木)
18:30~20:00

丹羽 浩正 氏
八戸学院大学 副学長
矢萩 大輔 氏
有限会社 人事・労務
代表取締役社長
瀬戸山 匠 氏
有限会社 人事・労務

TPP協定の影響を踏まえた 農業ビジネス戦略

1月15日(金)
18:30~20:00

鈴木 誠 氏
株式会社ナチュラルアート
代表取締役 CEO

申請月	許可申請		届出			
		3条	4,5条			
1月	受付	1/12~20		締切	1/5	1/20
	交付	2/17	※2/24	交付	1/15	1/29
2月	受付	2/12~19		締切	2/5	2/22
	交付	3/16	※3/25	交付	2/15	2/29
3月	受付	3/11~18		締切	3/7	3/22
	交付	4/15	4月下旬予定	交付	3/15	3/31

※他法令との調整により、変更となる場合があります。

**農地法関係の
申請受付日等について**
 当委員会が設定している農地法第3、4、5条の許可申請・届出の受付期間等をお知らせします。申請内容や申請書類について、事前に農業委員会でご確認ください。
問 農業委員会
 TEL 43-2111 (内線4014)



編集後記

世界人口の1/4を占めるイスラム教徒は、豚肉やアルコールを口にできないなど、食事について厳しい戒律があるため、海外では気軽に食事を楽しむことができません。
 ところが人口の9割近くがイスラム教徒のインドネシアで、日本で食べたいものを聞いたところ1位はラーメン、2位寿司、3位たこ焼きなんだとか。食事は旅の醍醐味。せっかく日本に来たら、おいしい日本食を、安心して楽しんでもらいたいものですよね。

そこで日本でもイスラム教の戒律に則って処理された「ハラール」食材を提供し、更には世界に向けて輸出しようという動きが広がっています。日本食ブームの今、その市場規模は数兆円とも言われています。
 TPP交渉の大筋合意を受けてますますグローバル化する農業ビジネスですが、先行き不透明で不安を感じる方も多いかもしれませぬ。一方、ピンチをチャンスと捉え、新たな活路を見出そうとする動きがすでに始まっています。

高橋